



# 新潟県の経済情勢報告

令和 7 年 1 月 30 日  
財務省関東財務局  
新潟財務事務所

お問い合わせ先  
関東財務局新潟財務事務所財務課  
電話番号 025-281-7503

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	→

（注）7年1月判断は、前回6年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、改善しつつある。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較
個人消費	回復に向けたテンポが緩やかになっている	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	↗
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	→
雇用情勢	改善しつつある	改善しつつある	→
設備投資	6年度は増加見込みとなっている	6年度は増加見込みとなっている	→
企業収益	6年度は減益見込みとなっている	6年度は減益見込みとなっている	→
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「下降」超幅が拡大している	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年を下回っている	前年を上回っている	↗

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの政策動向、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、ホームセンター販売額は前年を上回っている。百貨店・スーパー販売額は前年並みとなっている。家電大型専門店販売額、乗用車新車登録届出台数は前年を下回っている。宿泊や飲食サービスは、持ち直している。このように個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

## (主なヒアリング結果)

- 来店客数が10月以降で増加しているほか、一品単価の上昇により売上高が増加した。消費者のマインドとしては、コスト意識を高くして賢く節約する志向がある反面、特別な日には贅沢に消費する志向もあり、物価高によりメリハリをつけて消費する傾向が感じられる。(百貨店・スーパー)
- 来店客数が11月以降でほぼ前年並みに回復したほか、年末年始での来店客数、売上高は前年を上回っている。(百貨店・スーパー)
- 10-11月は気温が高めに推移し季節商品の需要が伸びなかったが、12月頃から大型白物家電、パソコンを中心に需要が高まり、初売りは曜日まわりや天候がよかったこともあって来店客の出足が良く売上げは前年並みとなった。(家電量販店)
- 家庭用品・日用品では値上げの影響からお得感のある大容量商品が好調。インフレ傾向になってから一年以上が経過したが、当初よりも価格に対する消費者の反応がシビアになっていると感じる。(ドラッグストア)
- 10-11月は気温が高く秋の入りが遅れたことからグリーン部門の秋野菜苗の動きが良かった。12月以降は気温の低下とともに季節商品の需要が伸びている。(ホームセンター)
- 買い控えといった消極的なマインドは感じられず需要は堅調であるが、メーカーからの配車台数が限られ受注を制限している状況となっている。(自動車販売)
- 年初の予約状況は例年どおり好調である一方、グレードの高い客室を選択する宿泊客の減少傾向が出てきており、節約志向の高まりを感じている。(宿泊)

## ■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、化学、電気・情報通信機械は低下しているものの、食料品、金属製品、輸送機械は上昇しているほか、汎用・生産用・業務用機械は堅調に推移している。全体としては、緩やかに持ち直しつつある。

- 価格転嫁が生産数量の伸びを鈍らせているものの、主力ブランドの拡売を図っており10月から増産体制となっている。(食料品)
- 国内は引き続き需要が堅調なほか、北米では建設機械向けや半導体製造向けの工作機械の需要が高まっている。(生産用機械)
- 10-12月期は、車載関連が軟調なものの、生成AI関連の需要が旺盛であり生産は高水準となっている。(化学)
- 自動車向け部品は、国内では一部の自動車メーカーの生産回復に合わせて、徐々に生産量が前年並みに回復しつつあるほか、インドや東南アジア諸国の需要が堅調。(金属製品)
- パソコン向けの半導体需要が回復していることに加え、スマートフォン向け需要も堅調。なお、前期は新型スマートフォンの発売や各種商戦に向けての生産・出荷のピークであり、その反動から生産は減少している。(情報通信機械)
- 二輪車用部品は東南アジア諸国での需要が堅調なものの、四輪車用部品は中国での販売が落ち込んでいるほか、米国も足下では伸び悩んでいる。(輸送機械)

## ■ 雇用情勢 「改善しつつある」

新規求人数は概ね横ばい、有効求人倍率は高水準で推移していることから、雇用情勢は、改善しつつある。

- 従業員は慢性的に製造部門で不足している。他業種を含めて採用の競争が激しくなっている。(製造業)
- 従業員の不足感は強まっており、賃上げや自分らしく働ける環境づくりを進めることにより人材確保を図っている。(小売業)

## ■ 設備投資 「6年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 6年度の設備投資計画をみると、製造業では前年比10.3%の増加見込み、非製造業は同6.9%の増加見込みとなっており、全産業では同8.5%の増加見込みとなっている。

## ■ 企業収益 「6年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 6年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業は前年比20.5%の減益見込み、非製造業は同7.8%の増益見込みとなっており、全産業では同5.9%の減益見込みとなっている。

## ■ 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 景況判断BSIをみると、全規模では「下降」超幅が拡大している。先行きについては、全規模では「下降」超で推移する見通しとなっている。

## ■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家は前年を上回っているものの、貸家、分譲住宅は前年を下回っている。

## ■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 公共工事請負金額をみると、国、県、市町村のいずれも前年を上回っている。

# 新潟県の経済情勢報告

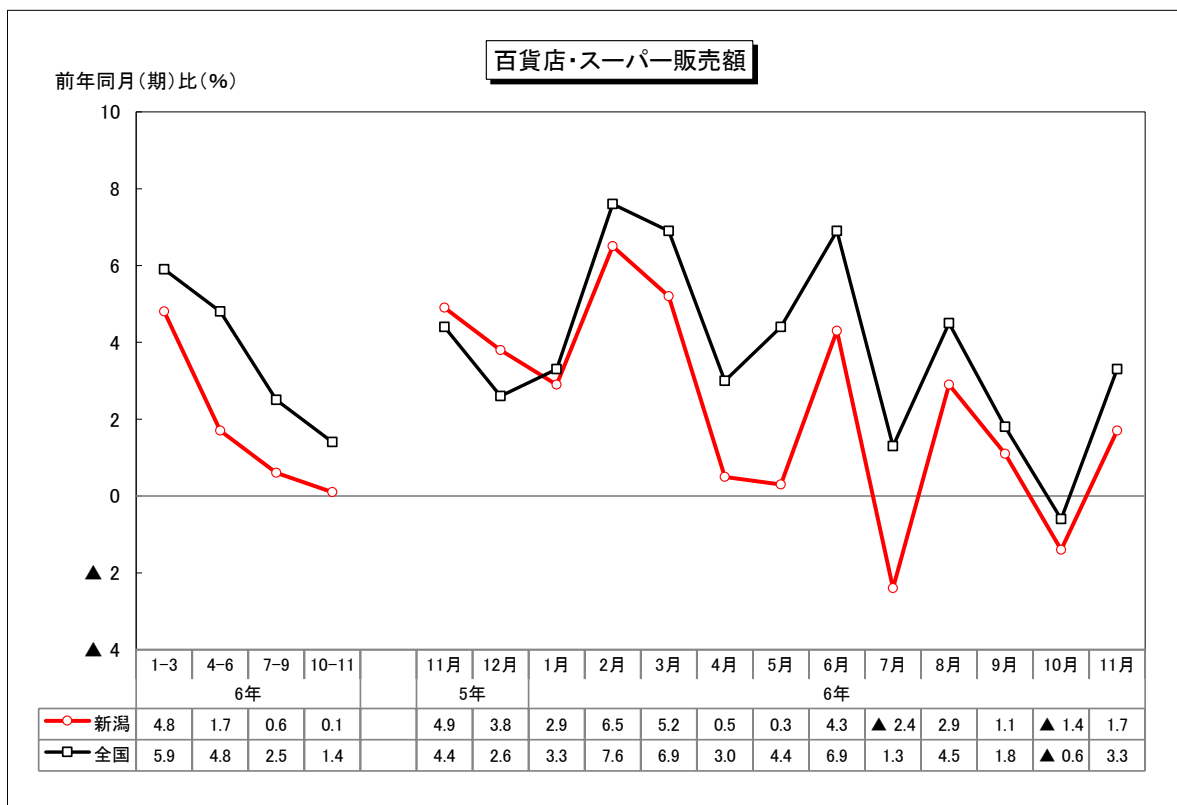
## 資料編

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

# 1. 個人消費

物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している

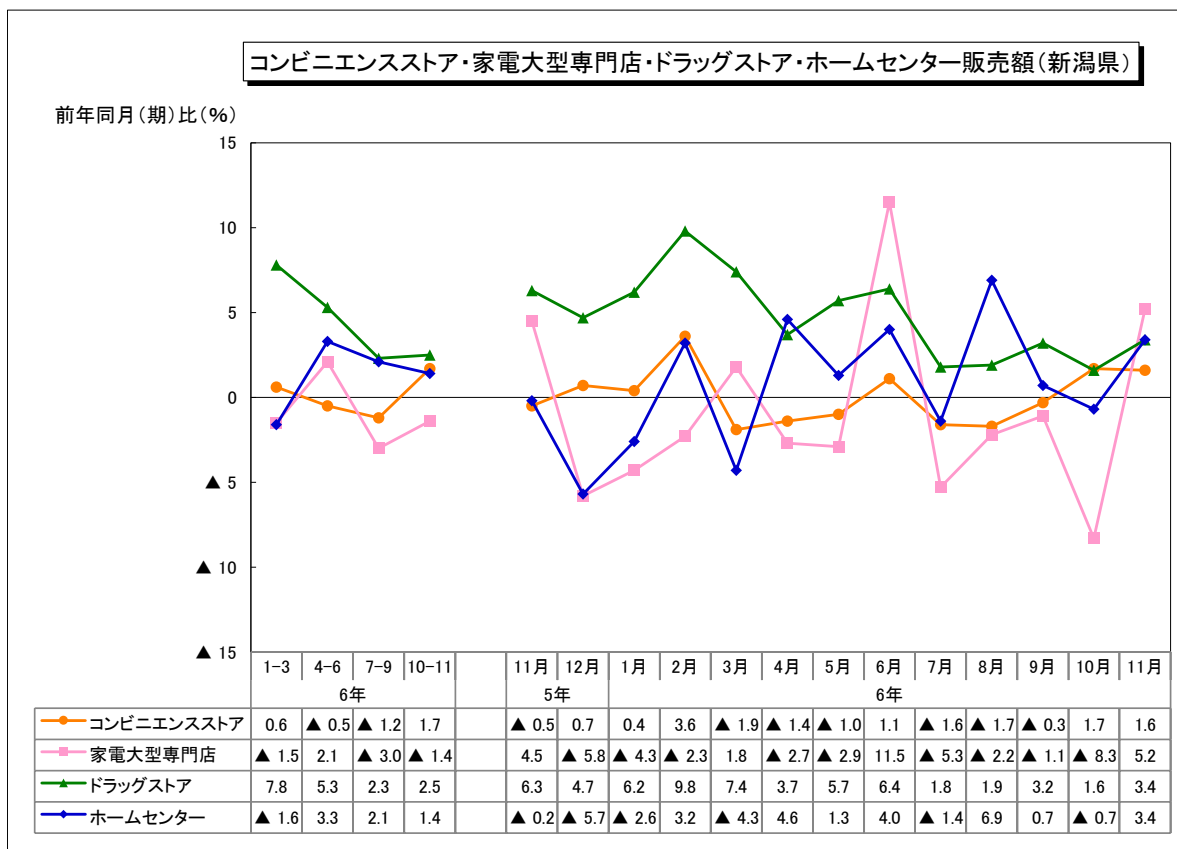
【グラフ1】



(注)前年同月(期)比は全店ベース。

【経済産業省】

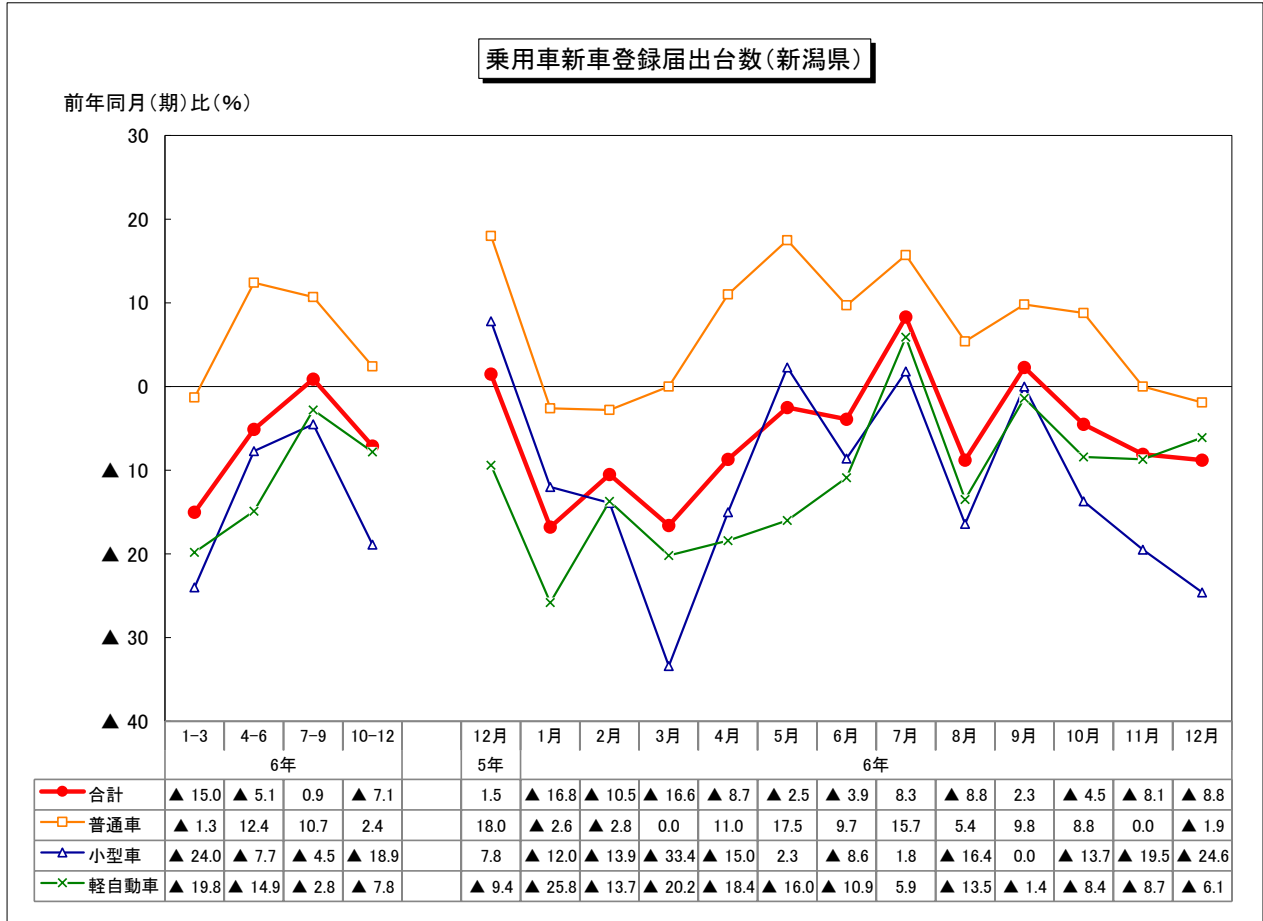
【グラフ2】



(注)前年同月(期)比は全店ベース。

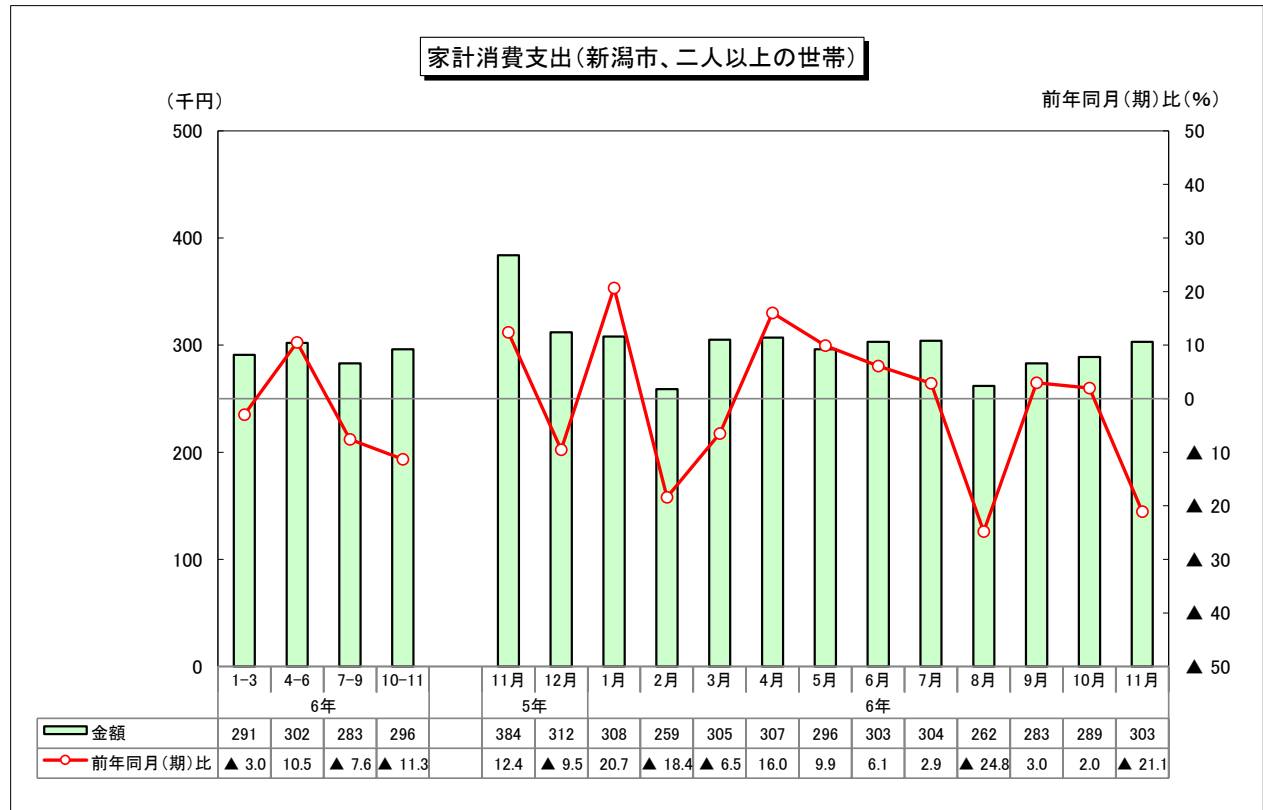
【経済産業省】

【グラフ3】



【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

【グラフ4】

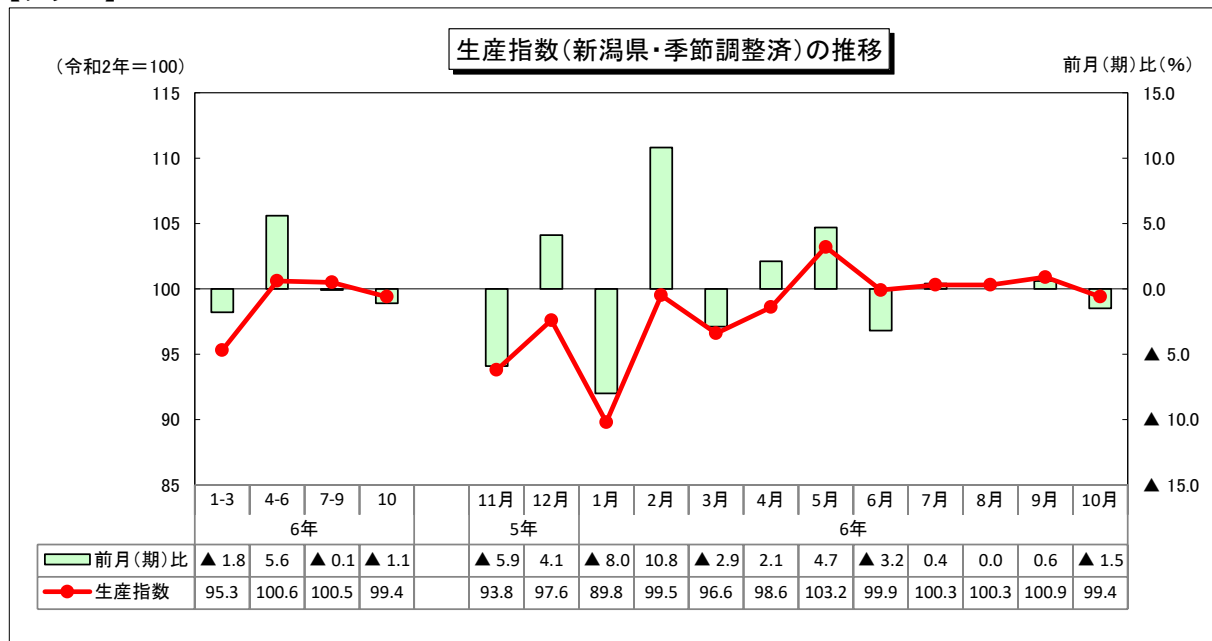


【総務省】

## 2. 生産活動

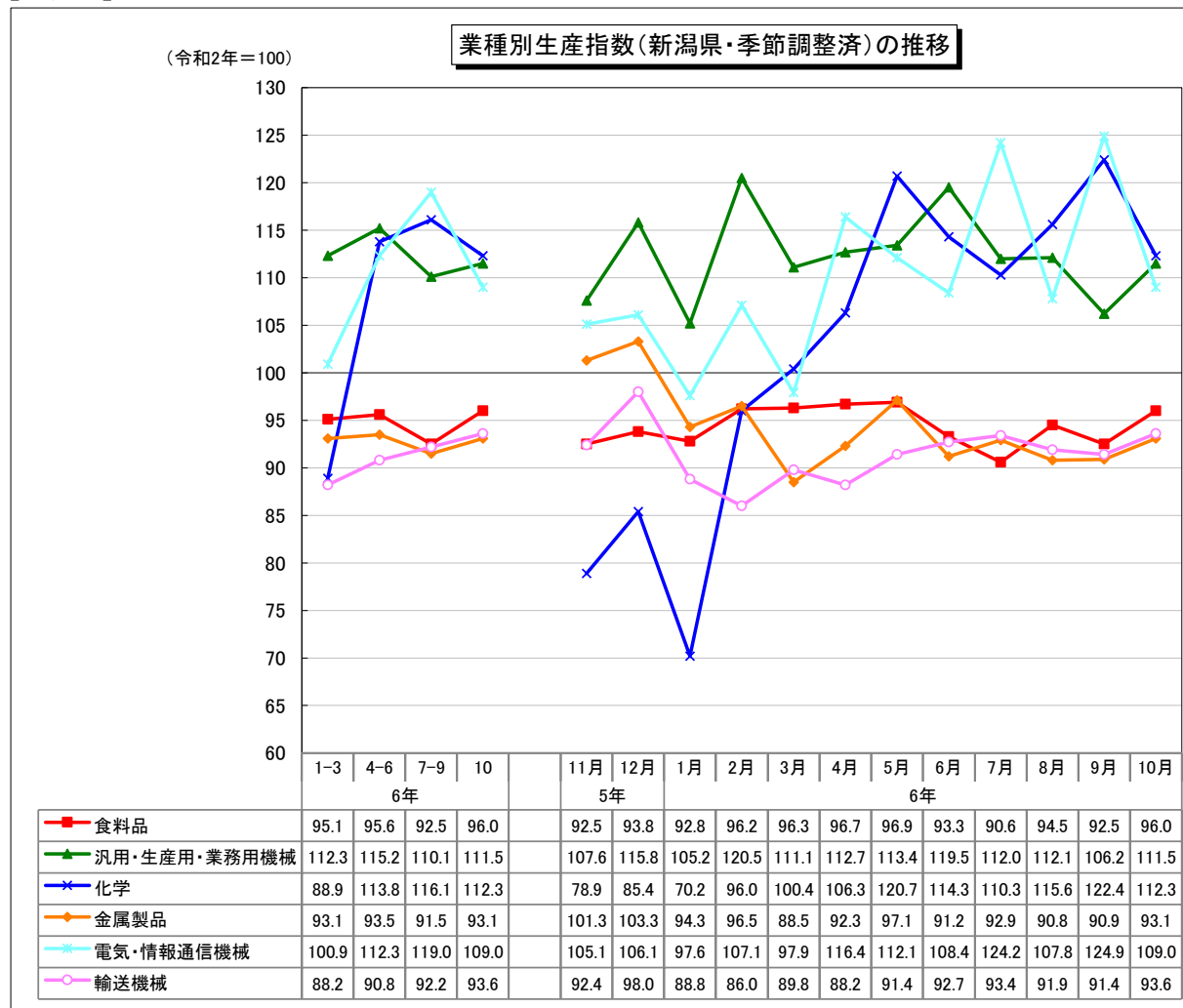
緩やかに持ち直しつつある

【グラフ5】



【新潟県】

【グラフ6】

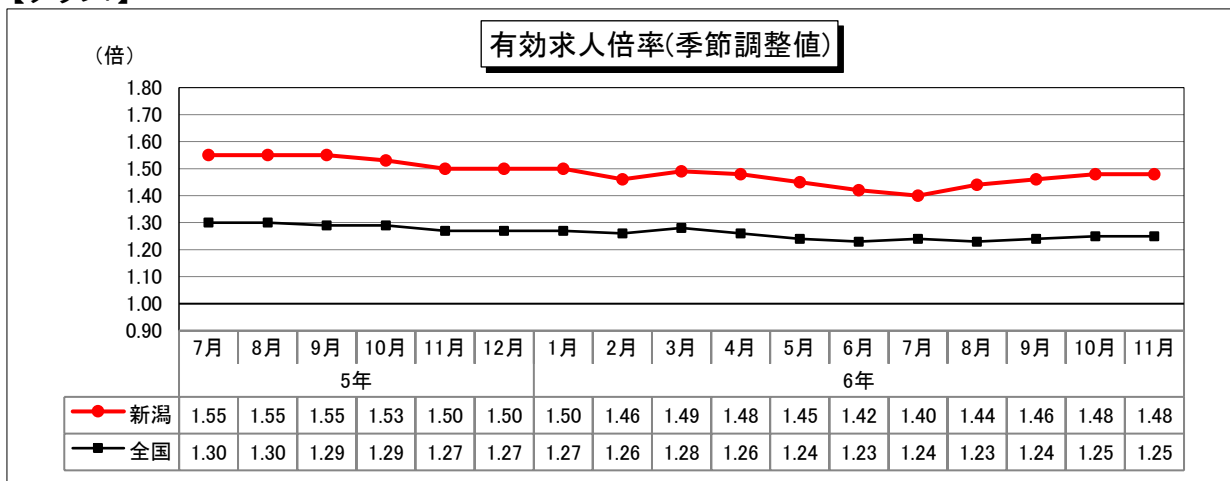


【新潟県】

### 3. 雇用情勢

改善しつつある

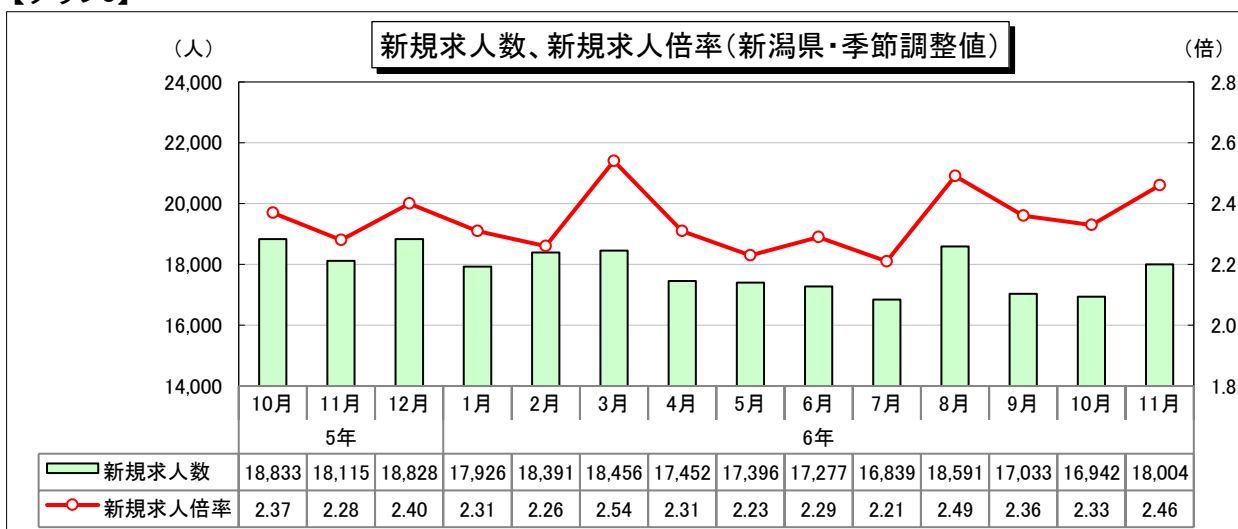
【グラフ7】



(注)パートを含む。

【厚生労働省】

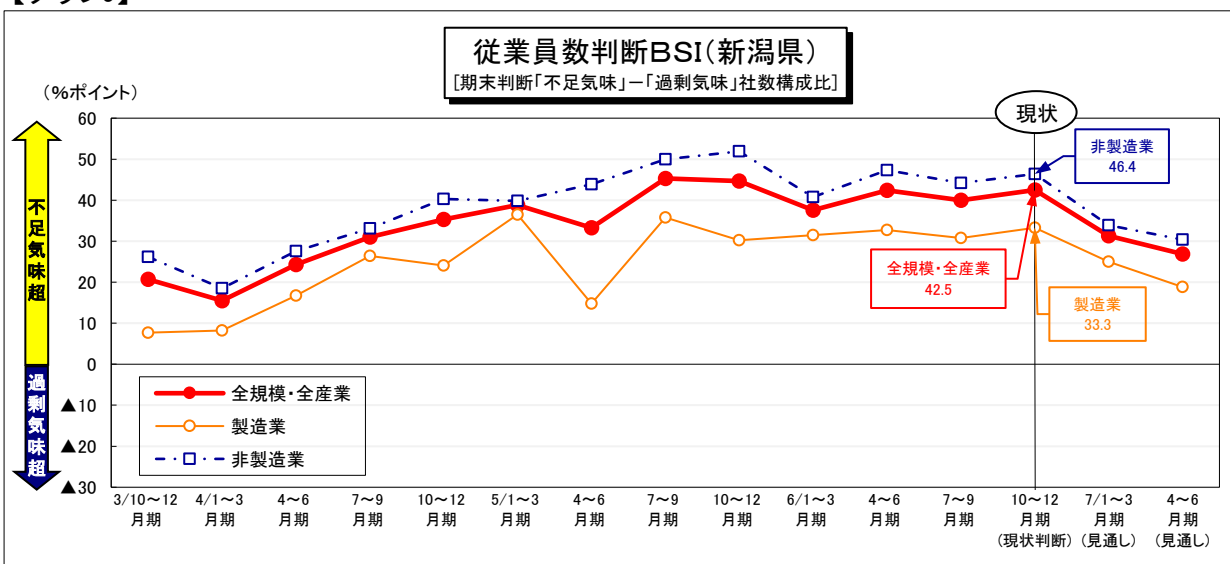
【グラフ8】



(注)パートを含む。

【厚生労働省】

【グラフ9】



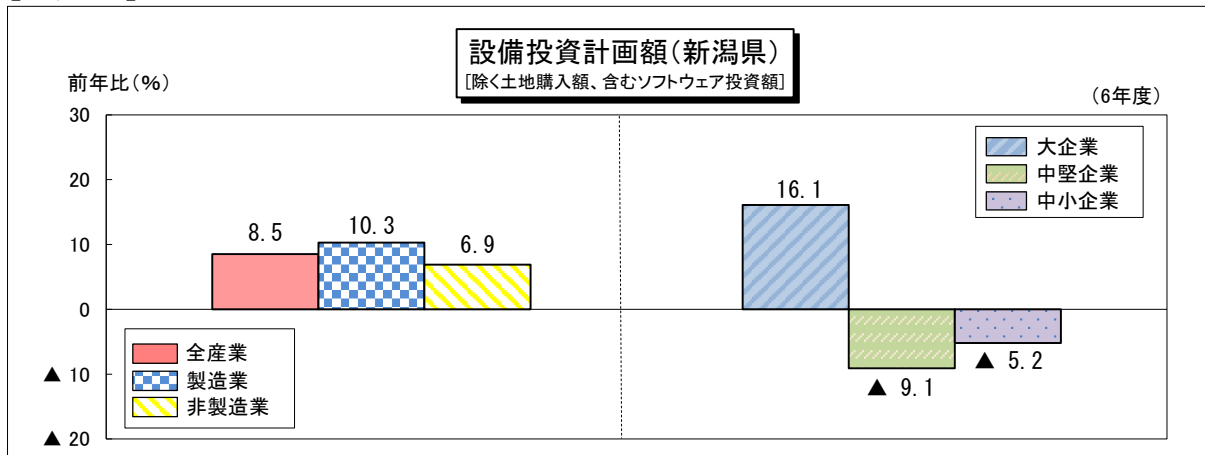
【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】



#### 4. 設備投資

6年度は増加見込みとなっている

【グラフ10】

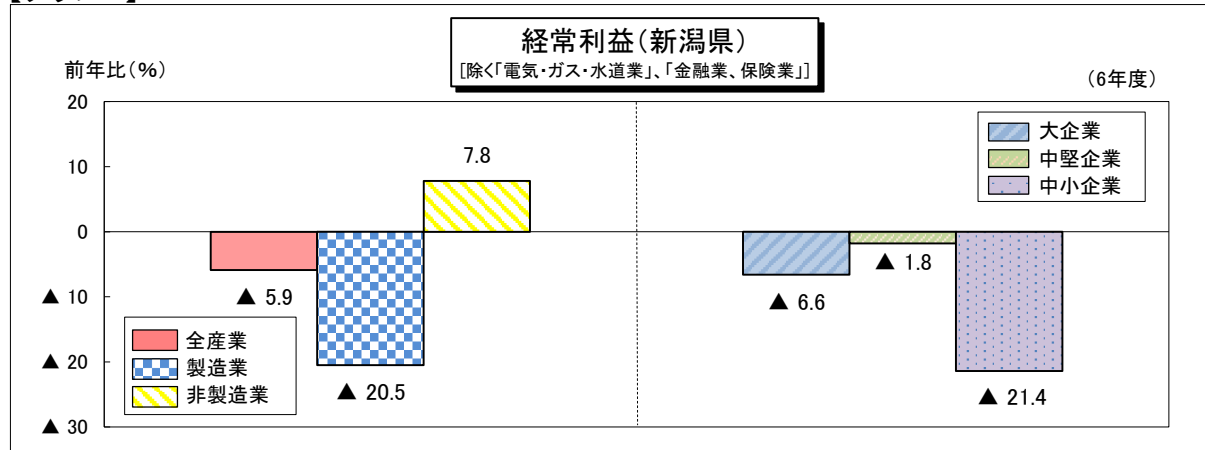


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

#### 5. 企業収益

6年度は減益見込みとなっている

【グラフ11】

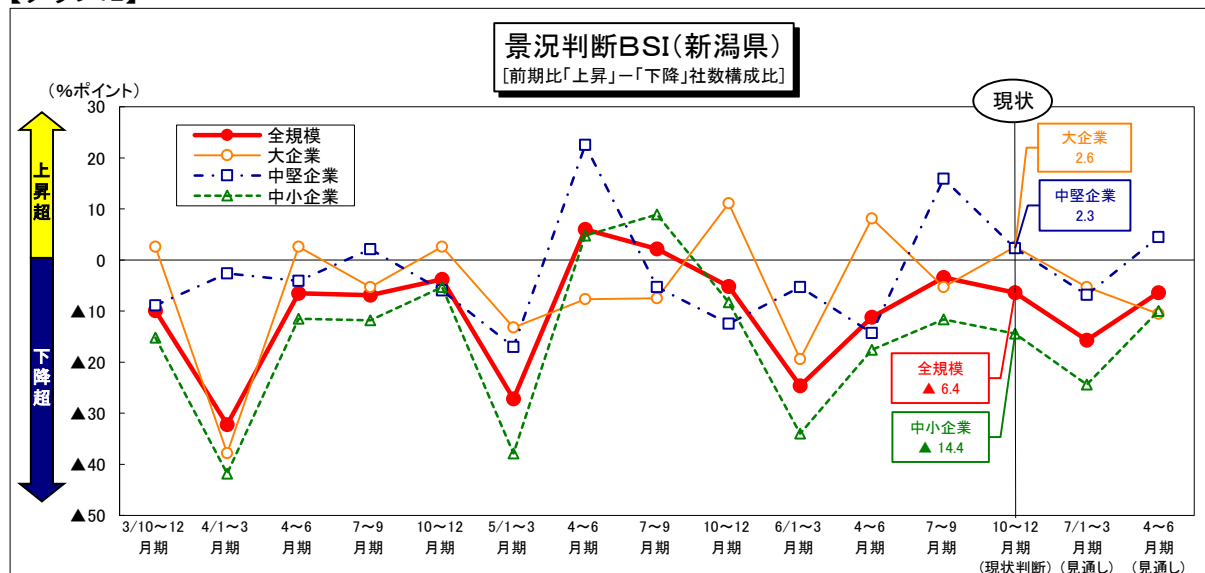


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

#### 6. 企業の景況感

「下降」超幅が拡大している

【グラフ12】

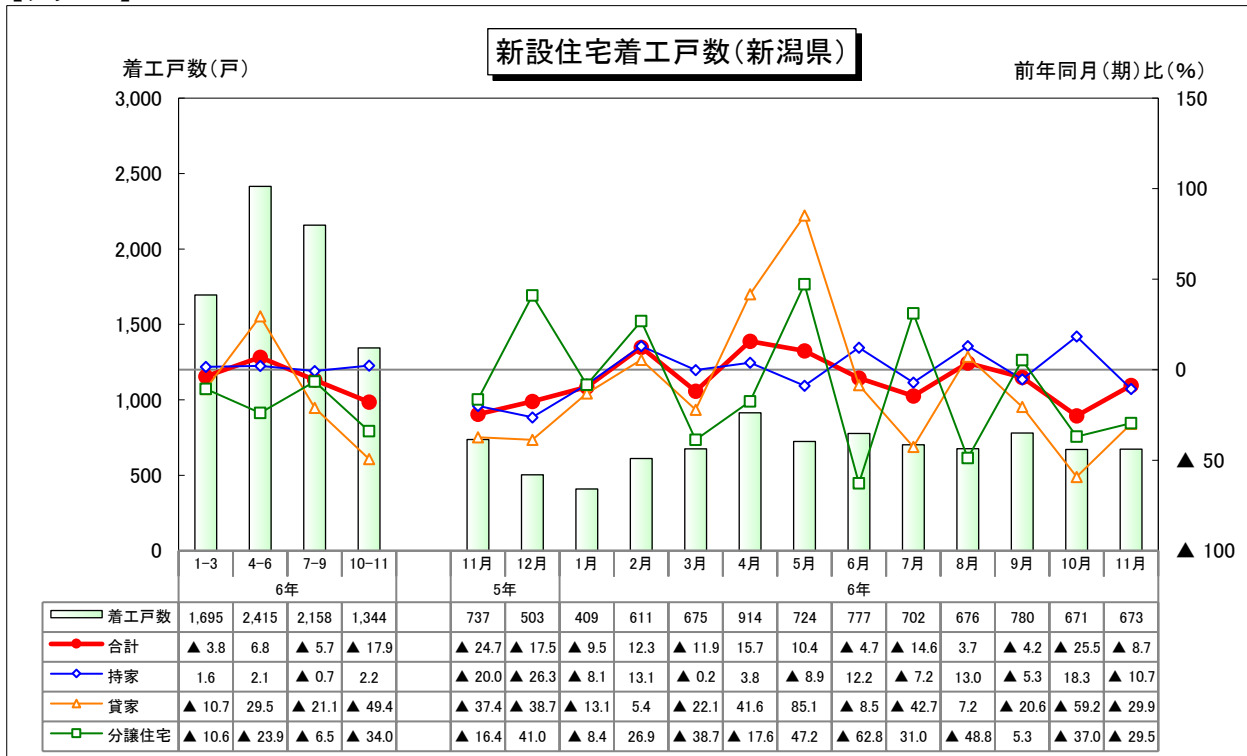


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

## 7. 住宅建設

前年を下回っている

【グラフ13】

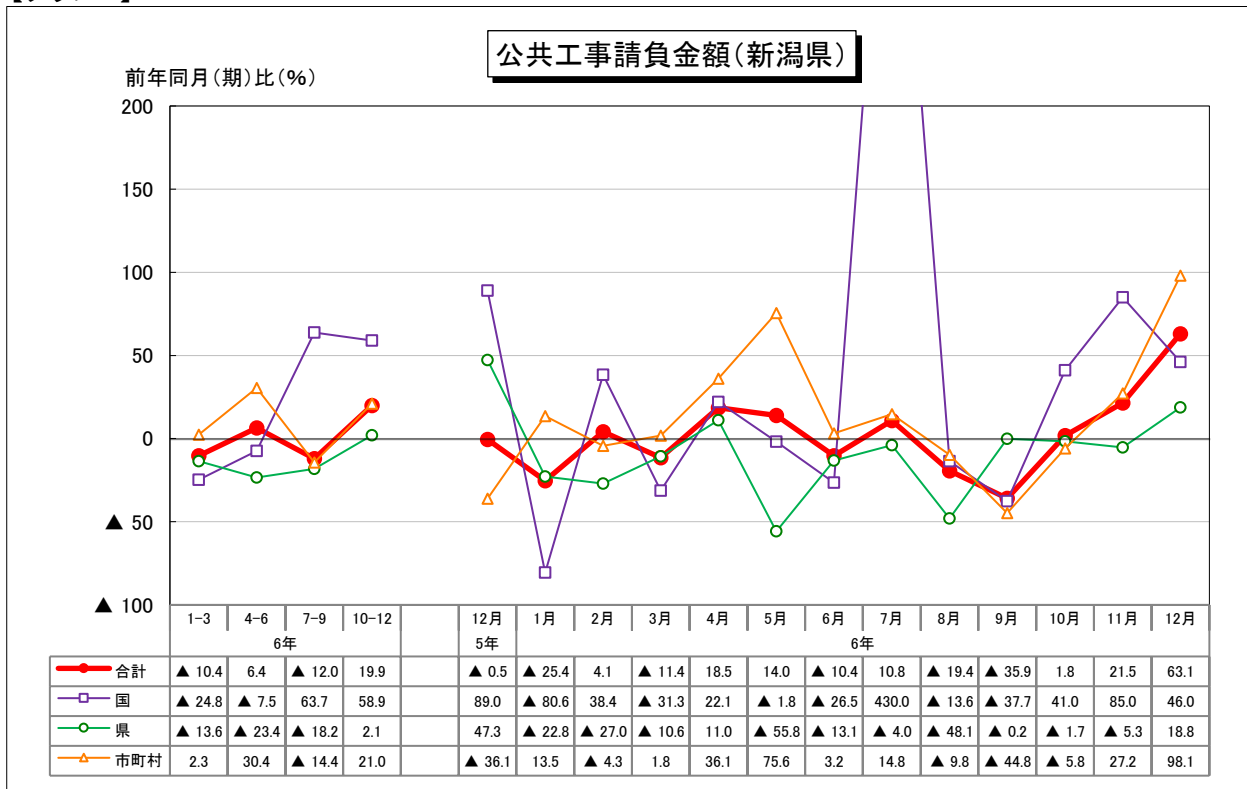


【国土交通省】

## 8. 公共事業

前年を上回っている

【グラフ14】

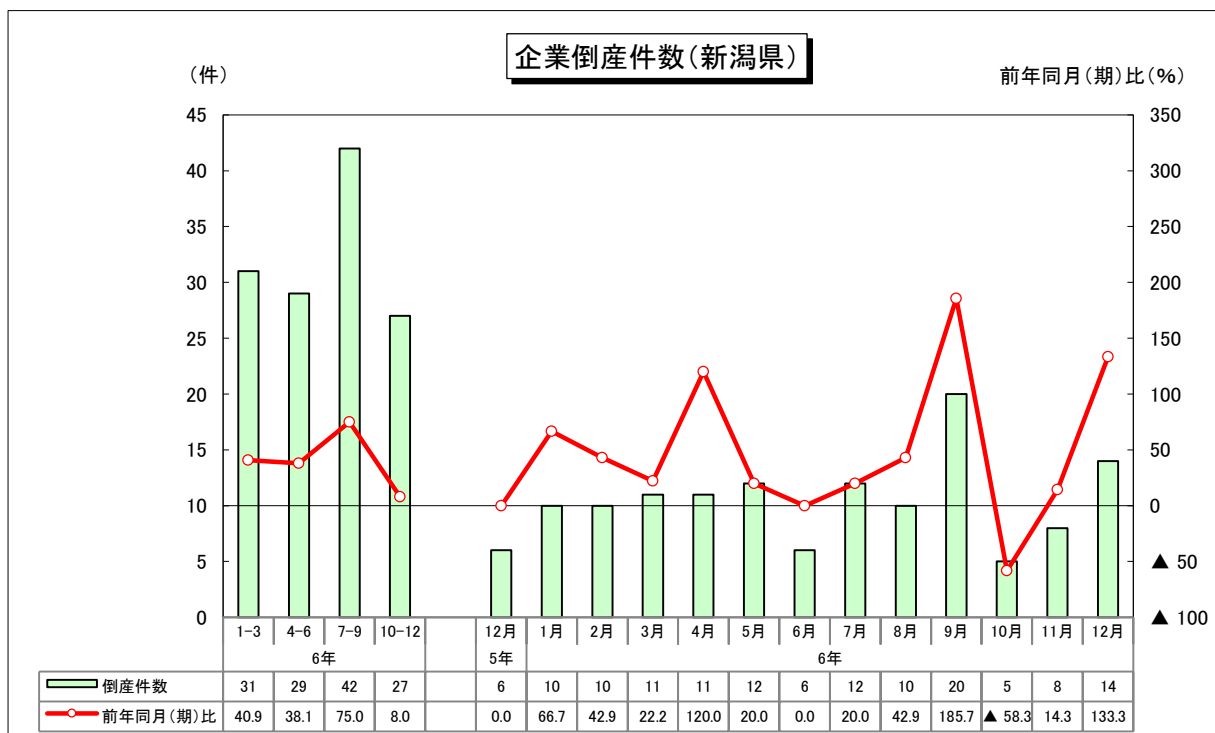


【北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)】

(参考) 企業倒産

倒産件数は前年を上回っている

【グラフ15】



【東京商工リサーチ】